

## 磨き合おう 教師力 こどもたちの笑顔のために



### これからの時代に求められる質の高い幼児教育を目指して

江東区立幼稚園教育研究会 会長 安田 徳章

令和5年6月に『教育振興基本計画』が閣議決定され、日本のこれからの教育の在り方が示されています。また、令和5年4月にはこども家庭庁が創設され、「こどもまんなか社会の実現」を社会全体で目指すことの必要性が示されました。江東区立幼稚園教育研究会でも、今年度より研究主題を「これからの時代をたくましく生きる江東のこどもたち～質の高い幼児教育とは～」とし、3年継続での研究をスタートいたしました。こどもまんなか社会の実現のためには、人格形成の基礎を培う幼児教育の重要性を社会全体で共有することが必要です。

私たちには、江東の未来社会を担うこどもたちの人格形成の基礎を培う重要な教育に携わっているという意識をもち、その充実に努めることが一層求められています。会員一人一人が、その役割を認識し、本質を見失わずこれからの時代に求められる質の高い幼児教育とは何かを深く見つけ、実践で示すことが必要です。また、今できることは何かを考え、今だからこぞできる新しい取り組みを進める時でもあります。近年の少子化や幼児教育無償化等の影響を受け、園児数の減少等逆風にさらされている現状があります。これまでも様々な困難を乗り越え、充実・発展を目指し仲間と共に実践研究を確かに進めてきた区幼研です。この難局を乗り越えるために、会員同士のつながりを生かした質の高い教育の充実とその重要性の発信を更に進めることが急務となっています。幼児教育の重要性を実践で示し、江東のこどもたちの明るい未来のために、私たちの今できる改善を確かに進めてまいりましょう。



### ピンチをチャンスに!

江東区教育委員会事務局 指導室長 飯塚 雅之

江東区立幼稚園教育研究会が、研究主題を「これからの時代をたくましく生きる江東のこどもたち～質の高い幼児教育とは～」とし、「夢中になって遊ぶ幼児を育む」「幼児の“やってみたい”“もっとやりたい”を引き出す環境の工夫」「一人一人の気持ちに寄り添った援助について考える」という3つのテーマで部会に分かれて、3年間をかけた実践的な研究のスタートを切られたことに、心より敬意を表します。

いま、区立幼稚園は大変な逆境の中にいます。区立幼稚園の存在意義が問われる中、就学前教育スタンダードを基軸とした質の高い保育を展開し、その成果を就学前教育フォーラムにて発表するなど、幼児教育の旗振り役として、その役割を示されており。また、YouTube や Instagram を用いて区立幼稚園の魅力を広く発信するなど、今できることは何かを考え、現状を改善していくため、新たなことに積極的に取り組まれておりますことに感謝申し上げます。

区小研とも連携を図り、区幼研、区小研が連携した研究も行っていると伺っております。「こどもまんなか幼稚園」を実現させるために、現在の状況を逆にチャンスと捉え、こどもたち一人一人に寄り添った保育を目指して、区幼研を中心に、各園の実践を積み重ねていただき、区立幼稚園だからこそできる、魅力のある保育を展開していただきたいと思っております。

結びになりますが、本研究会が江東区立幼稚園の全ての先生方の研鑽の場、園同士の連携の場となり、益々発展していくことを祈念するとともに、御尽力いただいた関係各位に心より御礼申し上げ、挨拶といたします。

## 《 研究主題 》

# 「これからの時代をたくましく生きる江東のこどもたち ～質の高い幼児教育とは～」

予測が困難で変化の激しい現代では、こどもたちに持続可能な社会の創り手となる力の基礎を育むことの必要性が国の重要施策や政府の方針として示されています。江東区立幼稚園教育研究会では、幼稚園教育要領や本区の教育施策を踏まえ、令和5年度から3年間の研究主題を「これからの時代をたくましく生きる江東のこどもたち～質の高い幼児教育とは～」としました。

## 研究主題 について

自ら未来社会を創り出していく「たくましく生きる江東のこどもたち」を育むため、全教員が3部会に分かれて質の高い幼児教育を目指し、日々の実践を振り返りながら協議を行い、学びを共有し、研究を進めています。

この研究会での学びが質の高い幼児教育の礎となり、たくましい江東のこどもたちを育てていることを関係機関や江東区民の方々に広く知っていただけるよう、令和5年度からは各部会に発信担当を置きました。現在、各園のホームページのメニューで、本研究会について紹介しています。今後は、更にICTを活用し、私たちの学びを発信してまいります。

## 各部研究活動報告

### 第1部会

部長 貞方 功太郎

推進部長 彦坂 恵美

### 研究 主題

### 「夢中になって遊ぶ幼児を育む」



私たち教師は、夢中になって遊ぶ幼児を育てたいと願っています。それは、幼児が夢中になって遊ぶ過程には、様々な学びがちりばめられているからです。本部会では、このことについて、深く探究したいと考えています。

「夢中」という言葉から想起する事柄は、主体性、意欲的、熱中、没頭、試行錯誤、よく考える・・・など、様々です。研究の1年目は、「夢中とは」ということを共通理解するために、写真を活用しながら、事例を通して探ってきました。まず、本部会なりの「夢中」の定義付けをした上で今後、「夢中になって遊ぶことで獲得する学びや育つもの」、さらには、「それらを生み出すための環境の構成や教師の援助」について、明らかにしていきたいと考えています。

10月には、部会を江東区小学校教育研究会 生活・総合部と合同で実施しました。5年生の総合的な学習の時間を見学し、小学校の先生方と共に協議を行いました。1月には、教育調査研究所研究部長の寺崎千秋先生にご講演いただきました。就学前教育から小学校教育へのよりよい接続についての視点ももちながら、研究主題に迫っていきます。

## 第2部会

部長 松岡 克恵

推進部長 藤澤 亜希

### 研究 主題

## 「幼児の“やってみたい”“もっとやりたい”を引き出す環境の工夫」 ～主体的に環境に関わり、 遊び込む幼児を育むために～

本部会では、幼児教育の基本である「環境による教育」の意味について考えを深め、幼児の実態に即した環境の構成や援助について研究を進めています。

教師はどのような意図をもち、何を育みたいと願って環境を構成したのか、幼児はどのようなことを楽しんでいるのか等に視点を置き、写真を持ち寄り実践事例について語り合っています。

また、実際に各幼稚園を訪問し、環境に込められた意図や幼児の姿について話を聞く“幼稚園ツアー”を行い、互いに学び合う機会を定期的に設けています。

9月には東京成徳短期大学 教授 松本純子先生を講師としてお招きして研究保育を行い、幼児が主体的に環境に関わって遊ぶ姿を通し、○自由感がある ○自分たちで変えていくことができる ○視覚的に分かりやすい ○友達と共有できる環境を創る、ということの大切さを学びました。10月、11月には江東区小学校教育研究会 図工部の研究授業・協議会・講演会に参加させていただき、ねらいが達成できるよう場や素材について熟考することは、幼児教育と共通していることを改めて実感しました。

今後は「環境による教育の意味」について更に協議を深め、研究を進めてまいります。



## 第3部会

部長 高橋 由美子

推進部長 夏井 史子

### 研究 主題

## 「一人一人の気持ちに寄り添った援助について考える」 ～安心して自分を出し、 ともに育ち合う幼児を目指して～

私たち幼稚園教諭は、日々、幼児一人一人の気持ちに寄り添いながら幼児が安心して自分を表し、伸び伸びと主体的に遊びや生活に取り組むことができるよう、支えていきたいと考えています。

しかしながら、幼稚園は集団生活を送る場でもあります。一人一人のペースや気持ちを大切にすると、他の幼児の思いを尊重することが難しい場面に悩むことも少なくありません。さらに3歳児、4歳児、5歳児それぞれの成長や発達に合わせて、教師の援助の方法も変わっていきます。

そこで、私たち第3部会では、今年度は「気持ちの寄り添いシート」を活用した事例検討やロールプレイを通して、「一人一人の気持ちに寄り添うとはどういうことなのか」「教師が一人一人に寄り添うことで、どのようなこどもに育ってほしいのか」を探っています。さらに12月には、白金幼稚園園長 仙田晃先生の講演会を実施し、新しい視点を得て、研究を深めているところです。

第3部会では「部員全員がファシリテーター」という意識をもち、それぞれの教員が主体性を発揮して話し合いを進めています。今後も研究を深め、よりよい手だてを探ってまいります。



## 深川地区 10月23日(月) 元加賀幼稚園

### ◎研究主題

#### 一人一人が輝く幼稚園を目指して ～各学級の実態に合わせた環境の構成や援助を探る～

本園では、園全体で一人一人が輝く幼稚園を目指しています。自分のやりたいことを楽しむ幼児、友達と思いを伝え合いながら遊ぶ幼児を育てるための援助や環境構成を探り、研究を進めています。

協議会では、年中組は保育記録を持ち寄り、教師が今、知りたいことや実態に合わせた記録について情報交換をしました。また、年長組は保育室の写真を持ち寄り、幼児同士の応答が生まれる環境についてのポイントを探りました。

講師として共立女子大学教授 田代幸代先生をお迎えし、「実践に生きる保育記録の在り方、応答性がうまれる保育室環境」についてご講演いただきました。記録は保育実践の過程の一つと捉えて行うことや、教師の願いを込めた環境に幼児がどのように関わっているかを読み取らなければ、次の環境作りや遊びの充実は図れないことを学び、実感しました。



## 臨海地区 6月13日(火) 豊洲幼稚園

### ◎研究主題

#### 幼児が主体的に体を動かして遊ぶことを 楽しむための援助や環境の構成を探る

本園では、限られた環境の中でも幼児が主体的に体を動かして遊び、多様な動きを経験できるような援助や環境の構成を目指し研究を進めています。

協議会では、本園の実践や各園から持ち寄った写真を基に、運動遊びの援助や環境の工夫について話し合いました。その中で、3・4歳児は「イメージをもてるような環境」「幼児が気付きやすい物の置き方」5歳児は「幼児が扱いやすい可動遊具」「友達の姿や小学生からの刺激」がポイントとしてあがりしました。

講師として有明教育芸術短期大学教授 深澤瑞穂先生をお迎えし、「幼児が主体的に体を動かして遊ぶための環境」についてご講演いただきました。心も体もワクワク動くような多様な遊びに出会う機会や環境を作っていくために、遊びの中で子どもたちから生み出されたルールを生かし、楽しさや満足感を味わえるようにすることの必要性を学びました。



## 亀大地区 10月18日(水) 第三大島幼稚園

### ◎研究主題

#### 自己肯定感を育む保育のデザイン

本園では、幼児が遊びや生活に自ら意欲的に取り組みながら達成感や充実感を味わい、一人一人が自分のよさを十分に感じて、自分に自信をもてるようになってほしいと願い、教師の援助や環境の構成を探っています。協議会では、本園の実践とともに、各園から持ち寄った自己肯定感を育むための保育の工夫についてのエピソードを基に、幼児の自信や意欲につなげるための、教師の援助や環境の工夫について話し合いました。

講演会では、東京成徳短期大学教授 松本純子先生を講師にお迎えし、幼児に自己肯定感を育むためには、幼児が好きなことを伸び伸びと取り組み、教師や友達と十分に関われる遊びが大切であることや、自己肯定感を育む教師の関わりのポイントとして、見える化（自分の姿や成長を具体的に確認できる機会）、適切な褒め言葉、感情の受け入れ、アクティブ・リスニング、失敗は成長の原資ということを学びました。



## 砂町地区 6月27日(火) 東砂幼稚園

### ◎研究主題

#### 様々な人との関わりを通して、自分も相手も 大切にできる心豊かな幼児を育てる

本園では、幼児が自分のしたいことに伸び伸びと取り組み、自分や友達のよさに気付き、自信をもって生活したりしてほしいと願い、教師の援助や環境の工夫を探ってきました。

協議会では、様々な人との関わりを充実させるための環境・活動の工夫や、友達のよさに気付くための教師の援助などについて各園での実践や意見交換を行いました。

講演会では、聖徳大学元教授 篠原孝子先生をお招きし、自己肯定感を育むためには、まず「自分も友達も好きになる」姿を目指し、一人一人が活かされる集団づくりをしていくことが基本となるとご指導いただきました。また、幼児の「関わり」を高めていくために、日々の記録や教師間の情報共有などから幼児理解を深め、幼児は主体的であるか、協同性が生まれているかを日々意識していくことの大切さを学びました。



## 講演会報告

令和5年4月19日(水) 場所: 江東区教育センター

テーマ 「幼稚園ラブソディー」

講師 江東区教育委員会 本多 健一郎 教育長



本多教育長のご趣味から日々の原動力、担任時代のエピソードや大切にしていることなどについてご講演いただきました。幼児の話をまず受け止めること、幼児が自分たちで考え、やり遂げた経験を重ね、自己肯定感を高めるようにすることの重要性を改めて感じました。

また、これからを生きる幼児に大切な創造性を育むためには、教師自身も様々なことに興味をもち、知りたいと思う探求心や、創造力が大切であると教えていただきました。

質の高い幼児教育の実現に向け、江東区立幼稚園教育研究会の研究を通し、誰もが納得する具体性をもった成果を出せるよう激励していただきました。(枝川幼稚園 小田倉 満里奈)

## 実技研修会報告

令和5年6月28日(水) 場所: 第二亀戸小学校体育館

テーマ 「歌おう! 踊ろう! 楽しい音楽リズム

~体を動かしたくなる音楽リズム遊びの工夫について~

講師 OFFICE TANIZOU 谷口 國博 (たにぞう) 先生



3年振りに参集型で行われた実技研修会では、講師のたにぞう先生から、幼児同士や親子で楽しむ触れ合い遊び、ヒップホップダンスなどを教えていただきました。触れ合い遊びを教師同士で楽しむ中で、改めて人と触れ合う心地よさを感じ、教師も幼児と一緒に楽しむことの大切さを学ぶことができました。

歌やリズムの合間には、たにぞう先生の保育士としての経験や、曲作りの経緯、幼児と関わる仕事の素晴らしさなどのお話を伺うことができました。教師が互いの保育を認め合い「3つのS(すごい、さすが、素晴らしい)」を伝え合うことで、自分も保育も変わっていくことを教えていただき、人とのつながりを大切にしたいと強く感じました。

研修会の最後に、「こどもたちとないたり わらったり」を歌ってくださり、会全体を通してたくさんのエールをいただきました。これからも、幼児が好きなことをたくさん楽しめるように、私たち教師も幼児と共に楽しんでいきたいと思えます。(東砂幼稚園 五味 佳奈子)

## 講演会報告

令和5年8月25日(金) 場所: 江東区教育センター

テーマ 「睡眠のリズムを整え、仕事の効率化を図る」

講師 東京家政大学人文学部 心理カウンセリング学科  
准教授 岡島 義 先生



快適な睡眠には、「質・量・リズム」の3つの柱を把握することが大切であるとご講演いただきました。自分自身の最大のパフォーマンスができる睡眠の仕方を知り、生活習慣を改善することで、睡眠や心身の安定につながるということが分かりました。また、睡眠を改善するためのアプローチについて学び、「睡眠が生きることを支える根幹になっている」ことの重要性を改めて感じました。

幼児にとっての理想的な睡眠時間や睡眠のリズムの整え方なども学ぶことができたので、保護者との連携に生かしていきたいと思えます。

教師自身が良質な睡眠を取り、笑顔で保育に臨み、仕事の効率化を図ることで、幼児教育の充実につながるよう努めていきます。(ちどり幼稚園 武茂 妙子)

# 特集

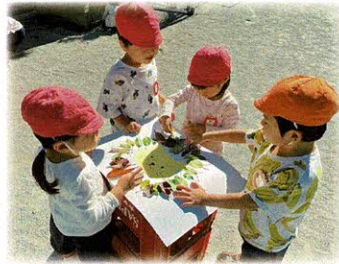
## 3歳児保育の取り組み なでしこ幼稚園

### 江東区立なでしこ幼稚園



## 令和5年4月から3年保育が始まりました！

年少いちご組とみかん組が加わり、賑やかになりました。  
楽しいことを先生や友達と一緒にたくさん見付け、心と体をたくさん働かせ伸び伸びと遊んでいます。



# 特集

## ありがとう！川南幼稚園・ちどり幼稚園

### 江東区立川南幼稚園



- 沿革
- 昭和43年 東京都江東区立川南幼稚園開園
  - 45年 江東区研究協力園
  - 51年 園舎落成記念式典
  - 53年 開園10周年記念式典
  - 56・57年 江東区研究協力園
  - 60年 東京都・安全努力校受賞
  - 63年 開園20周年記念式典
  - 平成10年 開園30周年記念式典
  - 11・12年 江東区研究協力園
  - 13年 健全育成推進地域事業指定園
  - 19年 江東区教育課題対応モデル園
  - 20年 開園40周年記念式典
  - 26・27年 オリンピック・パラリンピック教育推進園  
コーディネーショントレーニング実践研究園
  - 30年 開園50周年記念式典
  - 令和5年 江東区立川南幼稚園閉園

### 思い出 「人との関わりを育む教育」

川南幼稚園は、併設園であるよさを生かし、川南小学校との交流を多くもつことができました。また、近隣の都立大江戸高校・千田福祉会館・千田保育園の皆さんとも交流しました。

様々な人との関わりの中で、優しくしてもらった嬉しさや、自分が相手の役に立つ喜びなどを感じ、心豊かな幼児が育まれていきました。

地域に大切にされている、地域の中の幼稚園として、幼児の地域への愛着を育むことにもつながりました。

大江戸高校生との交流



### 江東区立ちどり幼稚園



- 沿革
- 昭和43年 東京都江東区立臨海幼稚園開園
  - 51年 東京都江東区立ちどり幼稚園開園
  - 55・56年 江東区研究協力園
  - 61年 開園10周年記念式典
  - 62・63年 江東区研究協力園
  - 平成4年 文部科学省委託研究
  - 6・7年 江東区研究協力園
  - 7年 開園20周年記念式典
  - 12年 東京都公立幼稚園教育研究会発表
  - 12・13年 文部科学省委託研究
  - 18年 開園30周年記念式典
  - 23～24年 耐震工事（プレハブ園舎引越し）
  - 24・25年 江東区研究協力園
  - 28年 開園40周年記念式典
  - 令和6年 江東区立ちどり幼稚園閉園

### 思い出 「牡丹町公園での運動会」

ちどり幼稚園の運動会は、地域の皆様のご理解のもと、伝統的に、隣接する牡丹町公園で開催してきました。

公園の起伏をそのまま生かした山のかげっこ、学級対抗の保護者綱引き、深川音頭などの名物演目があり、幼児、保護者、地域の皆様、職員、みんなで盛り上がりました。

早朝の、トラックでの荷物搬入、地域の皆様によるテント設営、保護者のご協力によるスピーカーの設置なども、よい思い出です。

